

教師学び工房 グロウアップ講座2025

3つの特色

- ①「講義・演習 (input)」―「実践 (practice)・調査 (research)」―「報告・共有 (output・outcome)」形式で、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の受講者が校種を越えて協働的に学び合う。
- ②育成指標に基づいた「省察」をとおして自身の立ち位置や職能成長について確認できる。
- ③受講者の実践課題等を踏まえ、教職大学院教員がコンサルテーションとサポートを行う。

【1日目】

9:15 ~ 9:30	受付
9:30 ~ 9:50	開会、趣旨説明（アイスブレイク・自己紹介を含む）
9:50 ~ 11:00	講義「確かな学力を育てる学習評価」 弘前大学教職大学院 助教 若松 大輔
11:00 ~ 11:10	休憩
11:10 ~ 11:50	協議「学習評価をめぐる課題」 弘前大学教職大学院 助教 若松 大輔 ほか
11:50 ~ 12:40	昼食・休憩
12:40 ~ 14:10	演習「子どもの学びの見取り方・活かし方①～ループリック作成ワークショップ～」 弘前大学教職大学院 助教 若松 大輔 ほか
14:10 ~ 14:20	休憩
14:20 ~ 15:50	演習「子どもの学びの見取り方・活かし方②～パフォーマンス課題作成ワークショップ～」 弘前大学教職大学院 助教 若松 大輔 ほか
15:50 ~ 16:00	閉会

【2日目】

9:15 ~ 9:30	受付
9:30 ~ 9:50	開会・ガイダンス
9:50 ~ 12:10	実践報告・協議「授業改善に向けた学習評価の活用」 ※グループ報告と全体共有、教職大学院教員による助言（途中休憩を挟む）
12:10 ~ 13:00	昼食・休憩
13:00 ~ 14:10	講義「思考力を育てるための学習者主体の授業づくり」 弘前大学教職大学院 教授 中野 博之
14:10 ~ 14:20	休憩
14:20 ~ 15:30	協議・まとめ「今後の授業実践の充実に向けて」 弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文、助教 若松 大輔
15:30	閉会、アンケート記入



NITS弘前大学センター

教師学び工房：グロウアップ講座 2025



明日の授業に役立てる！ 子どもの新しい姿を発見する学習評価

ーパフォーマンス課題とループリックの作成・活用を踏まえた授業づくりー

最新の教育評価の知識をアップデートして、子どもたちの様々な学びや育ちを見取るための
パフォーマンス課題やループリックの作成と実践を踏まえた検討会を行います。

※令和7年度青森県教育委員会中堅教諭等資質向上研修（前期・後期）選択講座の代替としても受講できます

日時	①令和7年 8月 7日(木) 及び②11月 6日(木)
会場	弘前大学 文京町キャンパス
対象	公立及び私立学校教員、附属学校園教員、教職大学院現職教員院生
定員	30名程度
講師	若松大輔、中野博之、菊地一文ほか、教職大学院教員

前年度の様子



前年度参加者の声

ペーパーテスト一辺倒ではない評価の視点を得ることができた。パフォーマンス課題、ループリックの作成で普段、表現しないもしくはできない生徒が自分の言葉で表現する姿を見ることができた。今回の講座では、他者との共有が足りなかったので次の授業では共有を意識していきたい。その際 ICT だったり、共有しやすいアプリを活用しながら授業を行いたい。

今回の講座では、普段悩んでいる部分が融解できる場面が多く、とても身になる講座でした。パフォーマンス課題では、いつも評価の仕方を悩んでいましたがループリックという考え方を知り、評価の付け方がわかりやすくなりました。また、生徒が挑戦する土壌を作るには、教員が挑戦することが必要なことや答えを教えることが深い学びにつながるのではなく、その答えに辿り着くまでの思考力が大切であり、さらには、その答えに辿り着く方法を今後どう使うかを考えることが、生徒にとって深い学びにつながることを学ぶことができ、今後の授業作成に活かしていきたいです。二日間、私にとって、とても実りある講義でした。ありがとうございました。

授業改善は面白いと感じることができ、とても楽しい学びの時間でした。

主催：NITS弘前大学センター 共催：青森県教育委員会